

「自己評価」(市内共通項目)評価書

朝霞第七小学校

柱	No	評価項目	評価				改善策として考えられること
			A	B	C	D	
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	○				学校教育目標の実現に向けて、分掌主任を中心に組織的・自主的な教育活動を実施していく。従来の七小スタイルに固執せず、新しい方法を提案し協議を深めて教育の質的向上につなげる。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)		○			施設設備は日常的な点検と定期点検を徹底して、事故を未然に防止する。 生徒指導の諸問題は生徒指導部会・学年主任会で状況や経過等を確認し、共通理解・共通行動で適切に対応する。毎学期の生活アンケート調査や個別面談、教育相談を行い、問題の未然防止と迅速な対応に努める。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	○				支援員等の活用も含め、個に応じた指導の充実に努める。 教科担任制を拡大し、専門的な指導を増やして学力向上につなげる。 外部指導者を招聘しての校内研修などにより、指導力向上につなげていく。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。		○			タブレット端末を活用した「主体的・対話的な深い学び」の充実に継続して研究する。 校内研修の充実や先進校研究発表会への参加等によって、教職員の意識改革と授業改善を更に進めていく。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。		○			課題としているあいさつの質を向上させるために、あいさつレベルを具体的に示して次年度は取り組んでいく。 児童の代表委員会の活動を充実させるなど、委員会活動の自主的な取組を推進する。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。		○			毎月の全校朝会で、生徒指導部教員が生活目標を確認して指導を行う。 発達段階に応じて学級ごとに、具体的な目標を立てて取り組む。 月末に全児童が振り返りを行い、生活力を向上させる。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。		○			年間指導計画に基づき、中体育と外体育をバランスよく配置し、体力の向上を推進する。 体育的行事や体育朝会を工夫して、運動好きの児童を増やす。 25分休みや昼休みでの外遊びを積極的に啓発する。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。		○			体育部が中心となって体育授業でのサーキットトレーニング活用など、課題のある項目を計画的に取り入れる。 感染症対策の見直しを行い、運動量を確保する。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	○				「音読・体力カード」の取組を継続し、家庭での運動・体力向上を啓発していく。 保健だよりなどの各種たよりやHPを活用して、保護者や地域に健康や体力に関する情報を発信していく。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	○				地区委員会との連携で、校区内の安全指導や通学路点検を継続する。 学期初めには、教職員も通学路に立って安全指導を実施する。 学校運営協議会で協議し、協力を要請する。

(注)

○それぞれの質問に対し、児童生徒、保護者や地域、学校全般を振り返り総合的に評価。

A:よくあてはまる B:ほぼあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない